

令和5年度

棚倉町学校教育経営改革プラン

夢をつなぎ志を育み
よりよく生きようとする子どもたちの育成
— 肯定的で対話的な関わりを通して —

- ◎ **知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」**
～確かな学力、豊かな人間性、健康・体力～
- ◎ **「生きる力」を具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す「資質・能力の3つの柱」**
 - 生きて働く「知識・技能」の習得 ○ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
 - 学びを人生活や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
- ◎ **社会的・職業的自立に必要な基礎となる「基礎的・汎用的能力」の育成**

- ◎ **新時代に対応する教育への改革**
 - 主体的・対話的で深い学びの実現
 - 社会に開かれた教育課程の実現
 - カリキュラムマネジメントによる学校改善
 - 学校の当たり前を見直す（目的と手段）
 - 幼少期の終わりまでに育ってほしい10の姿
- ◎ **Society5.0を生き抜く力を育てる**
 - 保・幼・小・中・高をつないだ資質・能力の育成
 - 自分で決めて学び続ける

持続可能な地域社会の創り手を育成するキャリア教育 ～新しい時代に必要となる資質・能力（基礎的・汎用的能力）の育成～

地域教育資源活用

- ◎ **コミュニティ・スクールの推進**
- ◎ **学校支援地域本部等との連携**



- ◎ **キャリア教育支援室との連携**
- ◎ **地域高齢者、成人、青少年との連携**
- ◎ **各地域の祭りなど地域行事との連携**



- ◎ **地域工場、事業所、施設等との連携**
- ◎ **子供育成会等との連携**

関係機関連携活用



人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

志

自己マネジメントを生かし
自分で決める学びの推進



自ら課題を発見し、他者との関わりを通して主体的に課題を解決し、新たな課題に立ち向かう子ども

未来を担う子供たちの「学び」を
地域全体で支援し、保・幼・小・中・高と資
質・能力を育て、つないでいく教育活動の推進



志（社会での自らの役割や生き方）を持ち、目標を立て計画的に取り組み態度を育む時期

友達や地域社会との関わりを通し、自分なり夢を育て、社会性や主体性を育む時期

人との関わりや、認められた喜びから自信をもたせる時期

特別活動を要にしたキャリア教育の推進と「心理的安全性」を高めた人間関係づくり

「キャリア教育意識調査」の実施と活用による基礎的・汎用的能力の育成

学校運営協議会等による評価

教育委員会評価委員会による評価

- ◎ 町長部局
- ◎ 企業・商工団体
- ◇ ドリームマップ
- ◇ 「チャレキッズ」（小学生社会職場体験）



- ◇ 職場体験学習（中2）



- ◎ 学芸員の支援による「棚倉町の歴史探究学習」
- ◎ 福祉関係団体
- ◎ 警察・消防署等
- ◎ スポーツ団体
- ◎ 文化団体
- ◎ 大学等
- ◎ 町活性化協会
- ◎ 社会教育団体
- ◎ 民間教育事業者

棚倉町学力向上推進事業 令和5年度重点プラン

棚倉町教育委員会

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育

新しい時代に必要な資質・能力（基礎的・汎用的能力）

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

自分にとっての学ぶ意義（各教科等における「なりたいたい自分」）の明確化

自己マネジメント力(RVPDCA)を生かした自分で決める学びの推進

【実践1】

学びの基盤づくり

- ◎学力向上の基盤となる学級づくり
 - ・「ほめポイント」による資質・能力の具体化・意識化・共有化
 - ・各種調査結果から個に応じた指導
 - ・心理的安全性のある集団づくり

○ICTの活用推進

- ・思考力、判断力、表現力を高める場面でのICTの活用
- ・個の想い、発達段階、学校の実態に応じたICTの日常的な活用
- ・発達段階や活用状況に応じた情報モラル教育の充実

【実践2】

自己マネジメント力の育成

◎探究的な学習の推進

- ・見通し（自分なりの目標設定）振り返りを重視した学習過程
- ・棚倉の歴史や文化のよさを探究

○自ら学ぶ意欲と肯定感の育成

- ・発達段階に応じた学習計画
- ・家庭学習計画表からスケジュール手帳等のツールの活用
- ・キャリアアパサポートの活用や対話的な関わり、振り返りによる自己肯定感の育成

【実践3】

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

◎分かる・できる授業の実践

- ・「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用
- ・板書計画に基づく授業づくり
- ・自分で決める学び、対話的な学びの推進
- ・目標設定と振り返りの充実
- ・授業と家庭学習の連動

○個別最適な学びの推進

- ・指導の個別化の工夫
- ・学習の個性化への配慮
- ・特別支援教育の充実

※「心理的安全性（psychological safety）」とは、エドモンドソンが1999年に提唱した心理学用語で、組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態のことです。

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育

新しい時代に必要な資質・能力（基礎的・汎用的能力）

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

肯定的で対話的な関わりを通じた資質・能力の育成

地域全体で未来を担う子供たちの「学び」を支援し、資質・能力を育む活動の推進

【実践1】

子どもの夢を支援する地域づくり

◎キャリア教育支援室の設立と活動

・機動性を生かしたサポート

◎地域学校協働本部の設立と活動

・学校運営協議会と地域本部の関

係強化

・地域コーディネーター、地域連

携担当教員の連携

○キャリア教育シンポジウムの実施

・「地域総がかりの支援」体制の

確立

○コミュニティースクールの推進

・学校運営に地域住民や保護者

等が参画、協働

・町教育委員会運営協議会設立

【実践2】

地域のよさを知り、地域から学ぶ

◎地域の歴史を知り、学ぶ

・小学3,4年:社会科副読本「私た

ちの町たなぐら」の改訂

・6年:学芸員の支援による「町の

歴史探究学習の実践

・地域行事への積極的参加

・歴史的風致維持向上計画

・棚倉城跡整備基本計画

○地域の産業を知り、体験する

・小学4年:「ドリームマップ」

・小学5・6年:「チャレキッズ」

・中学2年:町内「職場体験」

・小学校低学年体験学習「町探

検」等の実施

【実践3】

「ひと・もの・しごと」との出会いから学ぶ

◎地域との触れ合い活動から学ぶ

・チャレキッズや見学学習での対話か

ら学ぶ

・中学生の職場体験活動での対話から

学ぶ

・体験学習、昔遊び等、地域の老人等

との触れ合いから学ぶ

○キャリア教育推進事業から学ぶ

・自然の家における「セカンドスー

クル」から学ぶ

・町内全6年生による「宿泊学習」か

ら学ぶ

・人材バンクを活用した土曜教室から

学ぶ